

軽減申請書記入例 (R6. 12. 2~)

下記の太枠で囲んだ部分をご記入ください

水道使用量・下水道汚水排出量 軽減申請書

(宛先) 山形市上下水道事業管理者

申請内容について、該当する項目をチェックしてください

※本枠の箇所のみご記入ください
(□は該当する項目をチェックしてください)

令和 6 年 12 月 13 日

下記の給水装置において、令和 6 年 12 月 2 日に判明した漏水の修繕が完了しましたので、給水量の認定に関する要綱第 7 条並びに漏水等に伴う汚水排出量の認定に関する要綱第 7 条に基づき、軽減申請書を提出いたします。

【給水装置】

給水装置場所	山形市旅籠町二丁目3-25
給水装置番号	123456789
メーター口径・番号	20 mm 01 - 1234

【申請者 □使用者・□所有者】

住所	山形市旅籠町二丁目3-25
氏名	山形 太郎 押印は不要です。
電話番号	023-641-1212

□一時的な不在 **【理由】**

修繕完了後、すみやかに上下水道部お客さまセンター1番窓口へご提出ください。

修繕証明書

令和 6 年 12 月 10 日

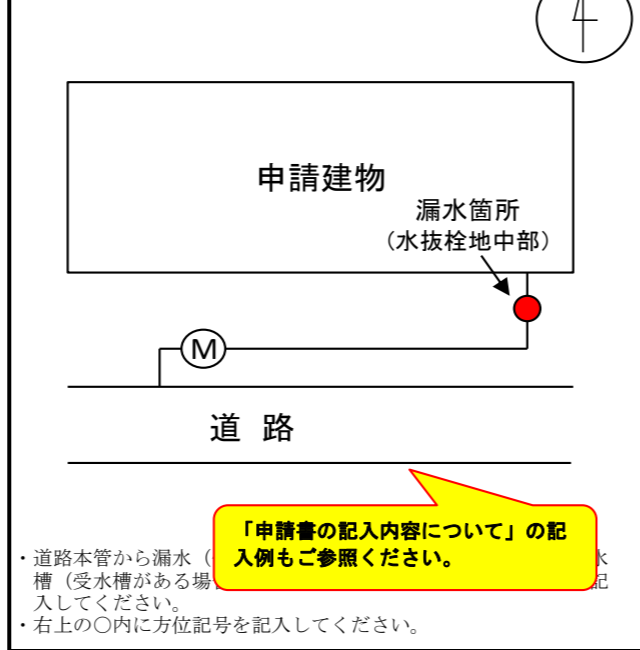
下記のとおり漏水修繕が完了したことを証明します。

【証明者 □山形市水道指定給水装置工事事業者 □山形市水道指定給水装置工事事業者以外(※)】
※修繕箇所が給湯設備及び給湯設備先の給水装置の場合、または下水道のみの軽減申請の場合に限る

住所・氏名(会社名)	山形市南石関27番地 水道施設管理株式会社	代表者名の記入及び代表者印の押印は不要です。	連絡先・担当者	023-645-1177 担当: ○○
------------	-----------------------	------------------------	---------	---------------------

修繕受付年月日	令和 6 年 12 月 3 日
修繕完了年月日	令和 6 年 12 月 6 日
修繕完了時のメーター指針	1,234 m ³

【平面図(別紙添付可)】



【漏水(修繕)箇所】
 地中部 地上部で発見困難箇所
 給湯設備及び給湯設備先の給水設備で発見困難箇所
 各戸検針建物の私設メーター先の給水設備で発見困難箇所
 地上部(一時的な不在の場合に限る)
 その他(下水道のみの軽減申請の場合に限る)

【修繕内容(具体的に記入してください)】
 (例) 水抜栓故障による地中部での漏水のため、水抜栓を交換。

「申請書の記入内容について」の記入例もご参照ください。

修繕内容が下記に該当する場合はチェックしてください。
 給水装置の原形を変える給水管の部分的な交換を行う工事
 破損箇所周辺の配管材質変更等、破損箇所のみを修復する以外の工事
 給水用具周辺の配管材質変更等、給水用具の取替以外の工事
 下水道のみの軽減申請の場合はチェックしてください
 漏水の下水道排水設備への流出無し

「申請書の記入内容について」の記入例もご参照ください。

上下水道部使用欄

上下水道部使用欄のため記入不要

(認定水量算出根拠)

今回水量	前回	前々回	前年同期	平均水量	軽減水量	認定水量
検針日(/)	検針日(/)				(水道) m ³	(水道) m ³
m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	(下水道) m ³	(下水道) m ³

下水道	修繕前直前検針日・指針	追加の軽減有・無(予定)	検針回次
	/	m ³	

【申請書の記入内容について】

- 申請書の提出日をご記入ください。
- 漏水調査等の結果、**漏水の事実が確認できた日**をご記入ください。
- 申請対象の給水装置の情報をご記入ください。給水装置の情報については、水道メーターの検針時にお客さまにお渡ししている「水道料金・下水道使用料のお知らせ」に記載しています。
- 軽減を申請される使用者または所有者の氏名、**現住所(給水装置場所と異なっていても構いません)**、電話番号をご記入ください。
- 入院等のやむを得ない理由により、申請者が一時的に給水装置場所(使用場所)を不在にした期間に地上部故障により発生した漏水(※)の軽減申請の場合は、□にチェックの上、不在となった理由をご記入ください。
例: 令和○年○月○日から令和○年○月○日まで入院していたため。
※蛇口の閉め忘れや給水装置の操作不良など、お客さまの過失や、給水装置の管理義務を怠ったことによる漏水は軽減の対象外となります。
- 修繕工事の完成日をご記入ください(下記⑧の「漏水箇所の修繕を完了した日」以降の日付で構いません)。
- 漏水箇所の修繕を行った方の住所・氏名(会社名)・連絡先をご記入ください。なお、申請書の内容について確認させていただく場合がありますので、連絡先には電話番号のほか、担当者様のお名前をご記入ください。
- 申請者の方から修繕を依頼された日、**漏水箇所の修繕を完了した日、修繕完了時点での水道メーターの指針**をそれぞれご記入ください。
- 漏水箇所について、該当する項目をチェックしてください(水道については、当該欄に記載した箇所が発生した漏水が軽減対象となります)。
- 修理の内容について、下記の例のように**具体的にご記入ください**。
【例】
 ・地中配管(鉛管)の破損による漏水のため、ポリエチレン管に交換修繕。
 ・宅地内のコンクリート舗装箇所の地中部漏水で漏水箇所の特定が困難だったため、露出配管により配管換え。
 ・建物2階PS内の配管腐食による漏水のため、配管を交換修繕。
 ・私設メーター先の配管腐食による漏水のため、配管を交換修繕。
 ・エコキュートから先の配管(床下配管)腐食による漏水のため、配管を交換修繕。
- 上記⑩の修繕内容が各項目に該当する場合はチェックしてください。なお、チェックされた修繕工事については、軽減申請とは別に、上下水道部給排水センターへの「給水装置工事申込」が必要となります。給水装置工事が必要か不明な場合は、上下水道部給排水センターまでお問い合わせください。
- 下水道のみの軽減申請の場合にチェックしてください。漏水が下水道に排除されていないことが確認できない場合は、軽減対象外となります。
- 図面上で漏水(修繕)箇所が軽減対象(上記⑨でチェックした項目)に合致しているかどうかを確認できるように記入してください。なお、漏水箇所以外の間取りなどを記入する必要はありません。
【記入例】

【問合せ・申請書提出先】

上下水道部お客さまセンター TEL: 023-645-1177 内線121~123